

菅谷まちづくり

(平成 26 年 9 月)

No.

7

菅谷地区まちづくり委員会広報誌

発行者：菅谷地区まちづくり委員会 委員長 高村 忠夫

企画編集：菅谷地区まちづくり委員会 総務部会

☎311-0105 那珂市菅谷 2378-1 ☎/ファックス：029-295-7175



【スポーツ鬼ごっこ。体育館実施：東、西小。校庭実施：菅谷小】

● 巻頭随筆

地域と連携した

子ども会の活動をめざす

・ ・ ・ 角田久美子（菅谷西子ども会
育成連合会 会長）

平成 26 年 7 月 19 日、那珂市子ども会育成連合会主催の「スポーツ鬼ごっこ大会」が開催されました。多くのご来賓を迎え開会式が始まると、子ども達も緊張した様子でしたが試合が進むにつれ動きが活発になっていきました。

このスポーツ鬼ごっこは男女混合七人編成で相手チームの陣地に入り、タッチを避けながら宝を取るゲームです。守り、攻め、走り回って相手チームを攪乱するなど多様な作戦を展開します。子どもはもとより、応援する大人達も夢中になるとても楽しい競技です。今年から子ども会親睦競技大会がキックベースからスポーツ鬼ごっこに変わったため、審判や記録を引受けて下さったお父さん、お母さん方もルールを覚えることから始めました。今年の優勝チームは横堀 A 地区でしたが、他のチームも地区予選を勝ち抜

ただけのこともあり、素晴らしいプレーを見せてくれました。

さて、これとは別に各自治会や子ども会では防災マップ作りにも力を入れていきます。災害時の避難路の確認の他、通学路や自転車を通る道の安全、駆け込み 110 番の家など子ども達と一緒に歩き確認し、地図を作ります。この計画は地区全体で互いに連携し取組むことで安全・安心が一層増すと思われます。

先の親睦競技大会も他の学校をはじめ、多くの方の協力があって実現することができました。このように一人ひとりが力を合わせることで大きな力になる大切さ、みんなでするう、盛り上げようという気持ちこそが「より良いまちづくり」になるものと期待しています。

●ゴミ問題を環境教育の一環に

矢吹 武将（菅まち委会環境部会長）

今回、はじめての試みとして菅谷小学児童保育児童と菅まち委会との協働で、学校及び鹿島神社周辺の道路と遊歩道のゴミ収集活動を実施しました。真剣な眼差しでゴミを拾

っている学童の姿を見て、一市民として改めて「ゴミ問題」への認識と責任を痛感させられました。今回は「ゴミを拾う」という体験に重点を置いた活動でしたが、今後は「ゴミを捨てない」という意識を育む教育が大切と考えています。



・学童保育の子ども達と道路わきのゴミを拾う・2014・3/24（月）

ゴミ問題を子供たちの将来のためにも環境教育の一環として、学校教育に積極的に採り入れるような機会があれば提言していきたいと思っています。

・掲載した写真は鹿島神社西側の遊歩道での活動です



地域住民に寄り添った

多彩な活動に感嘆

「塙山学区住みよいまちを

つくる会」に学んだ地区懇談会

平成26年6月28日(土)、午前10時から地区交流センターにて80余の参加者のもと、菅まち委会発足以来の懸案であった地区懇談会を開催しました。内容は、住民による先進的地域活動に大きな実績を上げている日立市の塙山学区住みよいまちをつくる会(以下、つくる会)の西村ミチ江会長の講演を主体に、総務部会長による市や地区の現状についての簡単な説明、質疑応答を交えた意見交換で構成されました。以下、当日の講演概要と、質疑を基に後日作成した菅まち委会の今後の課題、提言について報告します。

「西村会長の講演要旨」

昭和55年に発足したつくる会は現在およそ七千二百人の人口と二千三百二十の世帯とからなり、高齢化率は26.9%。平成元年、課題解決のため住民の要望を基に子どもから高齢者まですべての住民をまちづくりの担い手とした「365日型

のまちづくりプラン」を策定、各種事業を展開し現在に至る。主な事業として、ジャンボタクシーによる「移送サービス」、高齢者や障害者を支援する「暮らしサポートあんしん」、会独自の生活支援相談員や地域福祉コーディネーター、放課後児童のための「塙山わくわく広場」の開設など。《本来なら市や社会福祉協議会が主導するような事業を展開していることに驚かされました・編集部》



・講演される「つくる会」の西村会長 2014-6/28

「菅まち委会からの提言と課題」

(1)「地区がやること」と「行政がやること」を明確にし、自治会等と菅まち委会との共助のあり方を探る。

(2)自治会への加入促進(高齢化への柔軟な対応(会員の役割の軽減))。
(3)子ども会加入率の低下(自治会子ども会の主体性を重視し、育成会との協働について議論を深める)。

(4)自主防災組織の結成(結成した自治会の知見を積極的に活用する)。
(5)広報紙の発行(タイムリーな情報発信を可能とする体制づくり)。

以上、今回の懇談会から見えた課題に対応するため、菅まち委会はどのような立場(調整者、助言者、立案者)で行動するのか検討していかなくてはならないと考えています。

(総務部会)

高齢者と小学生との

ふれあい給食交流会

平成26年7月23日(水) 午前10時から「ひだまり」にて、菅谷小児童保育児童と地区の一人暮らし高齢者との交流会を実施しました。会では児童によるよさこい、大道芸、けん玉、フラダンスの熱演が披露され、高齢者の皆さんからは「大変楽しかった」「また誘って欲しい」との声が寄せられました。今回参加した高齢

者の皆さんは、下宿上、中宿、かしまた各自治会から合わせて11名でしたが、次回は他の自治会から募集する予定です。



・子ども達の熱演を観覧する高齢者の皆さん(手前)

お知らせ

「一人暮らしふれあい給食サービス」の実施要項の見直しについて、民生委員の代表と菅まち委会とで打合せ、次の通り決定しました。
・対象年齢を75歳以上とする。
・ふれあいをひまわりと変更する。
・この要項は、平成26年10月1日から実施する。

以上、ご理解の程お願いします。

(福祉部会)

花と緑

美しいまちづくりをめざして

花壇コンクールを実施

平成26年7月1日(火)、菅谷地区花壇コンクールの審査が行なわれました。花壇コンクールは環境部会が協賛する「菅谷地区花壇づくりネットワーク」が環境美化活動として毎年実施しているもので、地区審査で4団体を選び市審査に推薦。市審査では県の「花と緑の環境美化コンクール」に部門ごとに推薦します。



・県審査に推薦された上宿第3の花壇。鷺内自治会の花壇については本誌「自治会紹介」をご覧ください

菅谷地区では子供会の部に下宿上、中宿、東組の各子供会が、フラワーロードの部に鷺内、一の関各自

治会が、地域の部に寄居自治会、上宿第3高齡者の会、福田連合高砂会、合わせて8団体が参加しました。

5人の審査員が各花壇を巡り、栽培の苦勞なども聞き取り審査しました。その結果、東組、下宿上の両子ども会、鷺内区、上宿第3高齡者の会の4団体が市審査に推薦されました。市審査は7月16日(水)に行なわれ、鷺内区、上宿第3高齡者の会が県審査に推薦されました。

県の審査は8月下旬に行なわれ、9月下旬には県知事賞など各賞が発表されます。

(環境部会)

スポーツ鬼ごっこ 俊敏さを競う

子ども会親睦競技大会

昨年までのキックベースに代え「スポーツ鬼ごっこ」の競技大会が、菅谷地区各小学校を会場に平成25年7月5・6日(土・日)に開催されました。スポーツ鬼ごっこは、自陣と敵陣の二つのエリアに分かれ、各エリアのゴールには「宝」が台の上に置かれていて、相手の宝を取りに行きながら自陣の宝を守るという競技です。宝を取るためには相手陣

内に入りますが、そのとき、相手にタッチされたら自陣に戻り、再スタートしなければならぬというルールがあります。そして宝を多くゲットしたチームが勝ちとなります。



・男女混成で競うスポーツ鬼ごっこ。菅谷小校庭

会場ごとの結果は次の通りです。

● 菅谷小学区(準)準優勝、以下同じ

優勝・竹の内、準・下宿上

● 菅谷東小学区

優勝・堀之内B、準・堀之内A

● 菅谷西小学区

優勝・仲福田、準・一の関

また、7月19日(土)の市大会には各優勝チームが出場し、堀之内Bが準優勝の栄誉に輝きました。

(生涯学習部会)

山間の施設で夏の思い出

…親子ふれあい野外活動…

平成26年8月2日(土)、常陸太田市の「ビスタリーさとみ」で30名の親子参加のもと、恒例の野外活動を開催しました。爽やかな風の吹き渡る山里で、小学生の子ども達はスタンプや親の手を借りながら、ピザを作り、流しそうめんに舌鼓を打っていました。食後の腹ごなしには起伏のある野原や木造の遊具の周りでかくれんぼや鬼ごっこ、ビンゴゲームをし、夏のひと時をわくわくと過ごしました。



・上手にとれたかな？ 流しそうめんに舌鼓の親子

(生涯学習部会)

★ 第55回・選抜ソフト

ママさんバレー大会

選抜ソフトは総合公園、ママさんバレーは菅谷小体育館で共に6月15日(日)開催されました。前回まで「お父さんソフト」の名称で実施してきた大会は、今回から参加資格を18才以上の男子としたことにより「選抜ソフト」と名称を変更、またソフトバレーへの参加チームは、昨年の5チームから4チームになりました(求む、参加チーム)。



・ボールが吸込まれそうな青空の下での熱戦(線?)

成績は次の通りです。

● 皮バレーの部

優勝・下宿上クラブ、準優勝・ひが

しクラブ(東組)

● ソフトバレーの部

優勝・中宿、準優勝・EKD(福田連合)、第3位・ひがしクラブ、第4位・堀之内ソフトバレークラブ

● ソフトボールの部

優勝・上三ソフトクラブ(上宿第3)、準優勝・仲之内ソフトクラブ

この結果、市大会(7月20日)には上三ソフト(ソフトの部)、下宿上クラブ、中宿、EKD、ひがしクラブ(バレーの部)が出場しましたが、残念ながら上位入賞には至りませんでした。(体育部会)

★ 第37回・親善ソフト、バレー大会

8月24日(日)、菅谷地区内の交流を目的としたソフト(11チーム)とバレー(6チーム)の大会が総合公園と東小体育館を会場に同時開催されました。

成績は次の通りです。

● バレーの部

優勝・中宿、準優勝・下上B

● ソフトボールの部

優勝・上三ソフト(上宿第3)、準優勝・東組SBC



・プレーの汗と猛暑による汗の中で熱戦を展開

地区敬老者 昨年比6%増

今年度の菅谷地区の敬老該当者は二千五十二人で昨年に比べ113人増加しました。各自治会の敬老会開催日は次の通りです。

鷺内(9月18日)、東組(9月19日)、寄居(9月15日)、仲之内(9月15日)、堀之内(9月21日)、下宿下(9月15日)、下宿上(9月13日)、菅谷中宿(9月15日)、上宿第一、二、三、一の関合同(9月11日)、原福田、仲福田、下福田合同(9月29日)、かしまた台(9月14日)、ときわ台(9月7日)

■ 放射線を測ってみませんか?

測定器を貸し出します!!

県から市の防災課を通し、菅まち委会へ放射線測定器が貸与されました。原発から放射性物質が放出されてから四年目に入り、セシウム134の影響も当初の半分以下に減少しました。が、放出量が最も多かったセシウム137の半減期は30年です。時には周囲の放射線を測ってみましょう。ご希望の方は菅まち委会事務局へご連絡下さい(☎295・7175)。



・測定器。基準値は毎時0.23マイクロシーベルトです(自然放射線量を含む値)

防災情報

心肺停止から4分後に応急処置をした場合の生存確率は45%、しない場合は20%。

出典:OLIVEいのちを守るハンドブック

鷺内自治会

……鹿島 勇（自治会長）……

「概況」

鷺内自治会は菅谷の北部に位置し、会員数は514戸・27班という大きな組織で構成されています。

地区内には常磐自動車道をはじめJR水郡線、国道349号線バイパス、旧国道が縦断し交通量の多い地域です。また由緒ある不動尊や子安観音もあり、毎年祭礼を行ない後世に伝えています。また、水田や畑が多く那珂力ボチャが生産されるなど、歴史と自然が豊かな素晴らしい所です。自治会で管理しているフラワールードは100mもの長さで、6種類1200本の花が咲き誇っています。特にカンナは茨城国体からのもので今年で40年にもなり、子供や高齢者が集う花の散歩道として愛されています。

「今年度の活動」

- ・子供を守る防犯パトロール隊
- ・フラワールードの管理
- ・子安観音、不動尊の祭礼行事
- ・親善ソフトボール、バレーボール

・対抗ボウリング大会への参加

・敬老会の開催

・市民運動会への参加

・防災訓練の実施



・赤いカンナ(右端・茨城国体時に植付)がはるかに続く

「これまでに実施した主な活動」

花壇活動に多くの時間を費やしました。マルチ張りをはじめ、花のレイアウト、市場への花苗の買付け、除草、水遣りと大変でしたが市審査を通り、県審査に推薦されました。入賞を目指したいと思っています。また、子安観音、不動尊の祭礼、自治会内親睦ボウリング大会、敬老会に向けての準備も進めています。

一の関自治会

……卜部 一弘（自治会長）……

「概況」

一の関自治会は、市役所の東側に広がる中央と南、北の各部に分かれます。中央部には歴史ある曲がり屋や上菅谷駅、南部には菅谷西幼稚園や西小学校、北部には那珂郵便局や常磐道があり、緑と住宅の調和する美しい町並みです。現在は391戸26班、17の法人賛助会員で構成されています。

「今年度の活動」

自治会発足後4年目に入り、活動項目の見直し・改善・廃棄を行い、将来を見据えた盤石な礎を再構築したい。女性の活力やコラボ化を進め、活気溢れる運営を目指す。

- ・自主防災全訓練を実践する
- ・狭隘道、踏切内歩道の拡幅
- ・地域のスポーツ振興を図る
- ・弱者を守り安全安心の街づくり

「これまでに実施した主な活動」

- ・広報誌「一の関だより」の発行
- ・一の関地域を守る会を新設

（地域内、学童各パトロール）

・自主防災組織の設立

・定例（毎月一回）の執行役員会

・不法投棄ゴミの収集

・菅谷本祭りの上宿合同実施

・上宿合同敬老会の開催（98名）

・菅谷地区運動会への参加（70名）

・ボウリング、ゴルフ各大会参加



・自主防災活動の一環として、自治会員一体となって消防署員から心肺蘇生法(左)と消火器の使用法(右)を学ぶ：那珂市消防本部にて

みんなの声

*菅谷小学童と菅まち委会との合同によるゴミ収集活動(◆)と地区懇談会(●)について投稿頂きました。

◆「モラルの低下」によるゴミの不法投棄が問題視され、各種団体が工夫しながら日々ゴミ収集に取り組んでいるにも拘わらず改善の兆しが見られない。今回、初めての試みとして、菅谷小学童保育児童と菅まち委会との合同によるゴミ収集活動を実施したが、三週間前に市内一斉清掃をしたにも拘らずゴミはあった。活動としては一定の成果が得られたが何ともやりきれない思いであった。大人がモラルを守るお手本を示すことは当然として、学校で「ゴミを捨てない・捨てさせない」教育をすることも大事と思う。

寄居自治会 植田 貢

◆ 3月24日の暖かい午後、菅谷小の学童49名と地域のゴミ拾いを行いました。生き生きと元気な子ども達との協同作業で楽しい一時でした。この様に次代を担う子ども達

と地域が一緒になっての活動は、今後いろいろな形で実施していく必要があると感じました。欲を云えばゴミ拾いをした後、参加した子ども達とみんなで、環境美化について話しあいの場を持ち、子ども達への意識づけをすることが出来たら、なお良かったと思います。

下宿上自治会 船橋 和江

◆ 普段何気なく歩いている道路も、ゴミ拾いの目的を持って歩くと空き缶やタバコの吸殻など意外に多くのゴミが散乱していることに気が付きました。「ゴミ拾いが楽しかった」「ゴミを見つけて自分がきれいにしたことは嬉しかったけど、ゴミのポイ捨てはしないで欲しい」と言う学童が多かったです。今回の体験を通じ学童たちは、ゴミを「拾う」から「捨てない」への意識を持つことが出来たことと思います。

一の関自治会 加藤 進

● 地区懇談会で「塙山学区住みよいまちをつくる会」の西村会長の講演を聞き、30年前から既に取組んでいたまちづくりが今も尚、5年毎にコミュニティプランを改定・策定しながら継続されていることの素晴らしいさに感銘しました。特に興味を持ったのは、歴史を記録するコミュニティ紙「かわら版」の発行です。既に六百号にも届くとのことですが、私も懇談会終了後、我が自治会も記憶より記録に残る自治会に、そしてもっと自治会を知って欲しいと思い皆さんの協力を得て七月八日に第一号の広報紙を発行しました。末長く自治会の記録を発行していきたいと思っています。

下宿上自治会 入江 洋

● 一自治会ではできないことも複数集まると可能でしょうが、規模が大きすぎると難しいと思う。菅まち委会は3学区17自治会で構成されていますが、住民のニーズにきめ細かく対応できているのでしょうか。色々な課題はあっても、住民一人ひとりがまちづくりに関心を持ち、周囲に対し思いやりを持って接する

ことが大切だと思います。

まちづくりの仕組みづくりは大変だと思えますが、菅まち委会にはがんばって欲しいと思っています。

ときわ自治会 畑原 美百合

9月以降の活動予定(項目のみ)

- ◆ 10月 環境美化、自主防災、プーメラン大会、地区市民運動会
- ◆ 11月 第2回地区懇談会、ふれあい給食、カルチャー教室、青少年育成研修、ミックスバレーボール大会
- ◆ 12月 親子ふれあいスポーツ
- ◆ 平成27年1月 新春カルタ大会
- ◆ 2月 歴史講座、ふれあい給食、自治会対抗ボウリング大会
- ◆ 3月 学童との合同美化活動

「あとがき」菅まち委会での活動も4年目に入り、その役割を自問している。アドバイザーとしては知識不足、コーディネーターとしては経験不足、ましてやプレーヤーとしての力量など言外である。他方、各自治会や活動団体の皆さんが菅まち委会に何を求めているかも分からないでいる。

(尾馬毛)